

世界のゾウを考えるシンポジウム@日本

The 1st Symposium on World's Elephants in Japan



動 物園の人気者、絵本の主人公など、みんなに愛されているゾウですが、その素顔は意外と知られていないかも。体が大きくて、力持ち、大食漢で、怖いものはないように見えますが、アフリカゾウもアジアゾウも個体数は減少し、住む場所がない、象牙のための殺されるなど、困っていることはたくさんあります。そして、彼らに大きな脅威に与えているのは私たち人間です。



1 日本の動物園のゾウの状況
乙津 和歌氏
東京都恩賜上野動物園
(公社)日本動物園水族館協会
アジアゾウ計画管理者



2 アフリカゾウの妊娠・出産
椎名 修氏
愛媛県立とべ動物園
飼育展示課長・学芸員



3 10年後も野生のアフリカゾウが
いる世界を守りたい
山脇 愛理氏
NPO 法人 アフリカゾウの涙
共同代表



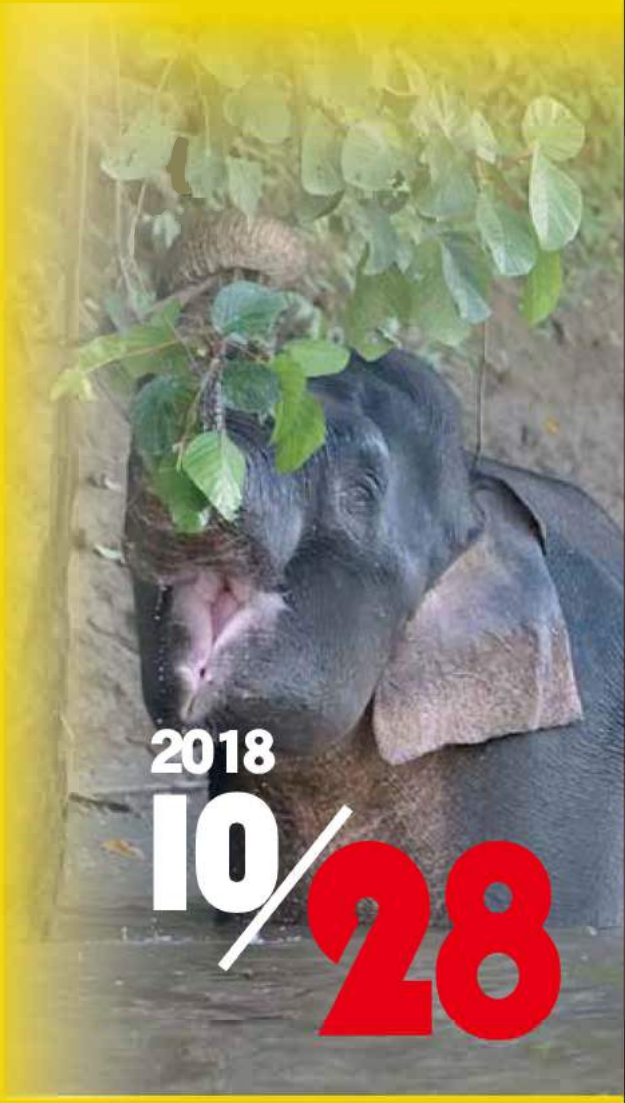
4 見返プロジェクト
～ボルネオゾウの保全活動
坂東 元氏
旭川市旭山動物園園長
BCTJ 理事



5 パネルディスカッション
ファシリテーター
石田 戦氏
千葉市動物公園園長
BCTJ 理事長

日 本の動物園にいるゾウ、アフリカで生きるゾウ、ボルネオで暮らすゾウ・・・彼らの素顔、彼らが抱える問題について知って、どうすれば彼らと共に生きていけるのか考えてみましょう。

- 日程** 2018年10月28日(日)
- 時間** 開場 13:05 開始 13:15 ~ 終了 16:20
- 会場** 国立科学博物館 日本館講堂
- 定員** 140名(予約制)
- 参加費** 大人 2000円、大学生 1000円、高校生以下無料



2018
10/28

お申し込み方法



- ①以下の URL よりお申し込みページを開く。
*QRコードからもページが開きます。



<http://www.bctj.jp/lp/elephant-symposium-apply/>

- ② 参加費用を振り込む。
 - ③ 費用振込を確認後、事務局からメールで参加証をお送りします。
- *参加証が届いた時点で申し込み完了となります
*お振込済の参加費払い戻しは致しかねます。ご了承くださいませ。
*当日は参加証を入館時にご提示ください(入館料不要)。
*高校生以下の方は当日生徒証をご持参ください。

ご連絡先

認定 NPO 法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン事務局
info@bctj.jp

主催 認定 NPO 法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン (BCTJ)
URL:<http://www.bctj.jp>

<https://www.facebook.com/bctjapan>
 <https://twitter.com/bctjapan>

共催 旭川市あさひやま動物園
 千葉市動物公園
 ボルネオ保全トラスト・ジャパン

協力 豊橋総合動植物公園、福岡市動物園、神戸どうぶつ王国、那須どうぶつ王国
後援 (公社)日本動物園水族館協会 (JAZA)

企業協賛: キリンビバレッジバリューベンダー株式会社、サラヤ株式会社、ハンティング ワールド ジャパン株式会社



プログラム

- 13:05 開場
- 13:15 開会挨拶
- 13:20～13:45 日本の動物園のゾウの状況
- 13:50～14:15 アフリカゾウの妊娠・出産
- 14:20～14:45 10年後も野生のアフリカゾウがいる世界を守りたい
- 14:50～15:15 恩返しプロジェクト～ボルネオゾウの保全活動
- 15:25～16:15 パネルディスカッション
- 16:15～16:20 閉会挨拶

- *参加証を入館時に提示すれば、日本館を見学することができます(無料)。
- *会場後片付けのため、16:30には会場をご退場ください。

10年後も野生のアフリカゾウがいる世界を守りたい

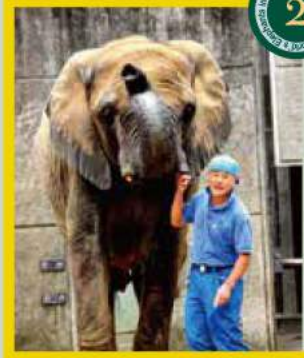
山脇 愛理氏/NPO法人 アフリカゾウの涙

「野生動物と人との共存」をモットーに、ケニアではゾウの畑荒らし、貧困などの問題解決として「ゾウよけ養蜂」や「苗ビジネス」に取り組んでいます。日本では象牙の消費をなくすために、絵本「牙なしゾウのレマ」を出版し小学校5000校に贈呈しています。アフリカゾウの生息するケニアと、象牙を消費する日本・両国で活動しています。

日本の動物園のゾウの状況

乙津 和歌氏/東京都恩賜上野動物園
(公社)日本動物園水族館協会アジアゾウ計画管理者

日本の動物園のゾウ飼育は上野動物園で明治時代に始まり、現在は42の動物園に110頭のゾウがくらしています。動物園には、野生動物や生息地の環境に興味や関心をもってもらうという大切な役割があります。動物園を代表する動物として多くの人に野生動物の魅力伝えてきたゾウたちのこれまでとこれからについてご紹介します。



アフリカゾウの妊娠・出産

椎名 修氏/愛媛県立とべ動物園
飼育展示課長・学芸員

1988年にペアで来園したアフリカゾウ、繁殖を目指してさまざまな試みをしてきました。2006年に待望の第1子が誕生しましたが、母ゾウは育児に興味を示さず人工哺育に。しかし第2子、第3子が生まれると徐々に社会性が育ってきました。当園では年齢の違う3頭のメスゾウが野生本来の母系家族で暮らす姿を見られるようになりました。



恩返しプロジェクト～ボルネオゾウの保全活動

坂東 元氏/旭川市旭山動物園 BCTJ 理事

木材、パーム油などボルネオからの恵みを人間は享受していますが、そのために野生動物は住処やえさを奪われています。中でも農業被害を与えるボルネオゾウは「害獣」扱いされ、殺傷されています。恩返しプロジェクトは、ゾウの移動用檻や一時的保護施設の建設など現地の野生生物局と共にボルネオゾウの保全活動を行っています。



パネルディスカッション

ファシリテーター
石田 戥氏/千葉市動物公園園長 BCTJ 理事長

ゾウは陸上最大の動物で、大食漢、群れで移動しながら暮らすので広い土地が必要です。生息地であるアフリカやアジアで開発が進むにつれ、人間とゾウの軋轢も高まっています。野生ゾウと共に生きるにはどうすればいいのか、何ができるのかを、動物園、学校、企業、個人…それぞれの立場で意見交換をしたいと思います。

会場のご案内

国立科学博物館
日本館講堂

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20



常設展入口よりお入りください。

常設展入口 国立科学博物館
(特別展入口) 上野本館

- JR「上野」駅(公園口)から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅(7番出口)から徒歩10分
- 京成線「京成上野」駅(正面口)から徒歩10分

ご連絡先は...

認定 NPO 法人
ボルネオ保全トラスト・ジャパン事務局

info@bctj.jp

